USB メモリの中身を、パスワードで守るソフト



Link Lock

取扱説明書

バージョン 2.0.0 対応

🔒USB の中身を暗号化して、パスワードで守ります

🖱️エクスプローラーと同じ感覚で、開く・保存・整理ができます

🔌USB を抜けば、すぐにロック

© 2026 株式会社リンクファシリティーズ　無断転載・複製・改変・再配布を禁じます

もくじ

第1章	Link Lock でできること	3 ページ
第2章	はじめての準備（最初の1回だけ）	4 ページ
第3章	画面の見方	9 ページ
第4章	毎日の使い方（開く・保存する）	10 ページ
第5章	ファイルを入れる・取り出す	12 ページ
第6章	ファイルの整理	14 ページ
第7章	いくつかまとめて選ぶ	16 ページ
第8章	使い終わったら	17 ページ
第9章	バックアップ（もしものために）	18 ページ
第10章	そのほかの機能	20 ページ
第11章	お試し期間とライセンスキー	22 ページ
第12章	困ったときは（Q&A）	24 ページ
第13章	大事なお約束	26 ページ

このマニュアルの見方

💡ポイント
知っておくと便利なことです。

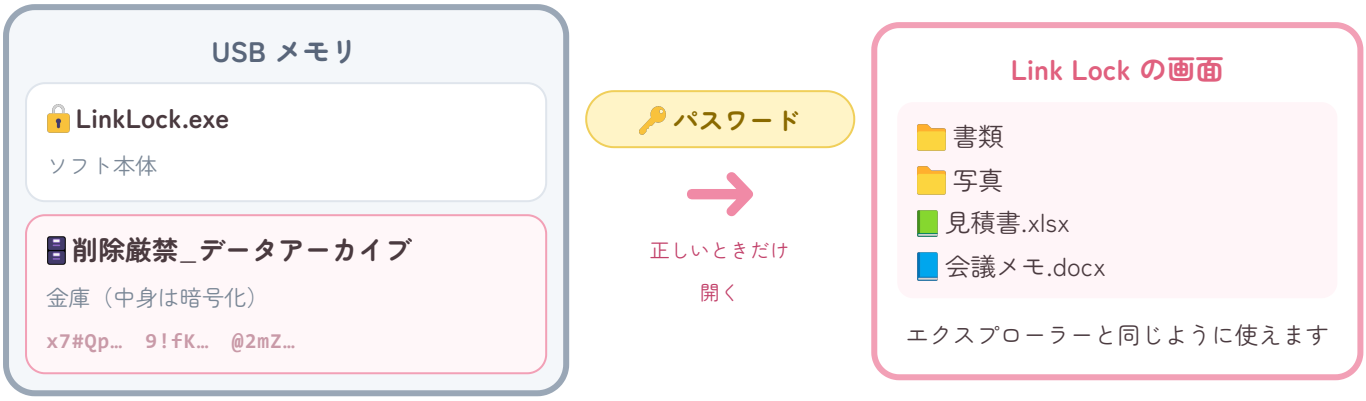
⚠️ ご注意
うまくいかない原因になりやすいことです。読んでおいてください。

🔑大事
データを失わないために、必ず守ってほしいことです。

・画面の写真の ❶ などの番号は、説明の番号と合わせてあります。
・画面の色や絵、ボタンの言葉は「テーマ」（着せ替え）や季節によって変わります。この説明書は、はじめて使うときの「四季」テーマ（春）の画面で説明しています。ボタンの場所と働きは、どのテーマでも同じです。
・キーボードのキーは Ctrl のように表します。Ctrl ＋ A は「Ctrl を押したまま A を押す」という意味です。

第1章 Link Lock でできること

Link Lock（リンクロック）は、USB メモリの中身に「金庫」のようなカギをかけるソフトです。



🔎USB を拾った人がのぞいても…
暗号化された読めないデータしか見えません

📝 ファイルを開いて保存すると…
自動で金庫に戻ります（保存し直す手間なし）

🔌USB を抜くと…
すぐにロック。パソコンに中身は残りません

こんなときに安心です

- USB メモリを**なくした・落とした**とき … 拾った人には中身が読めません。
- 仕事の書類やお客様の情報を **USB で持ち歩く**とき。
- 家族や同僚と同じパソコンを使っていて、**USB の中を見られたくない**とき。

用意するもの

パソコン	Windows 10 または Windows 11（64ビット）。ソフトのインストールは**いりません**。
USB メモリ	守りたいファイルを入れる USB メモリ（外付けのディスクでも使えます）。
パスワード	8文字以上。**12文字以上がおすすめ**です。忘れないよう、紙に書いて安全な場所にしまってください。

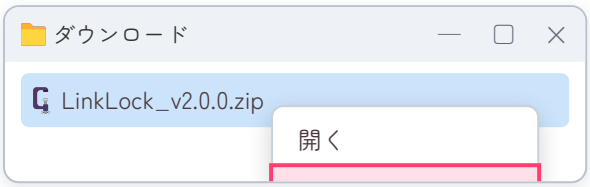
🔑パスワードを忘れると、中身は誰にも戻せません

Link Lock は本物の暗号でカギをかけています。作った会社でも、パスワードなしでは開けられません。パスワードは必ず控えておいてください。

第2章 はじめての準備（最初の1回だけ）

受け取った ZIP ファイルから Link Lock を取り出し、USB メモリに入れて金庫をつくります。

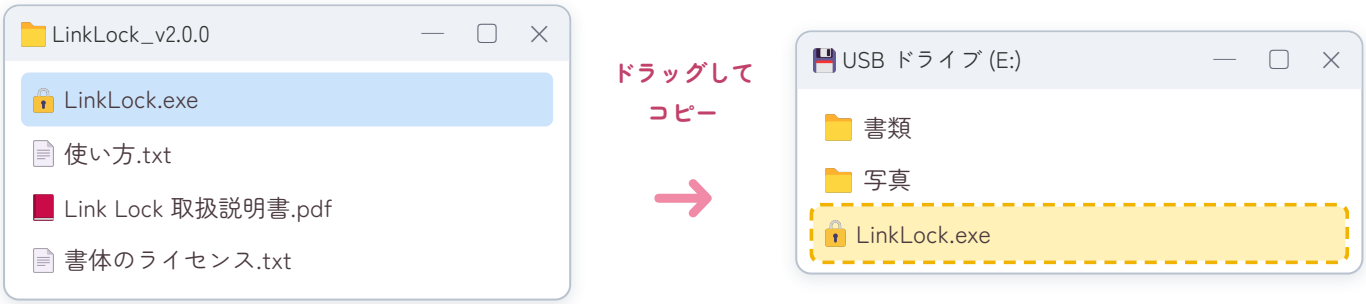
① ZIP ファイルを展開する



1. **ZIP ファイルを右クリック**
   受け取った「LinkLock_v〇〇.zip」を、マウスの**右ボタン**でクリックします。
2. **「すべて展開...」を選ぶ**
   出てきたメニューから「すべて展開」を選び、「展開」を押します。
3. **フォルダができる**
   同じ場所に「LinkLock_v〇〇」というフォルダができます。中に LinkLock.exe が入っています。

> ⚠️ **ZIP の中から直接開かないでください**
> ZIP ファイルをダブルクリックして中を見た状態のまま LinkLock.exe を開くと、正しく動きません。必ず「すべて展開」してから使ってください。

② USB メモリに LinkLock.exe をコピーする



USB メモリをパソコンに挿し、エクスプローラーで USB（例：「USB ドライブ (E:)」）を開きます。 展開したフォルダの **LinkLock.exe** を、USB の**いちばん上**（フォルダの中ではなく、開いてすぐの場所）にドラッグしてコピーします。

> 💡 **ZIP ファイルはパソコンにも残しておきましょう**
> LinkLock.exe を消してしまったときも、ZIP からもう一度 USB にコピーすれば、金庫はそのまま開けます。

③ LinkLock.exe を開く

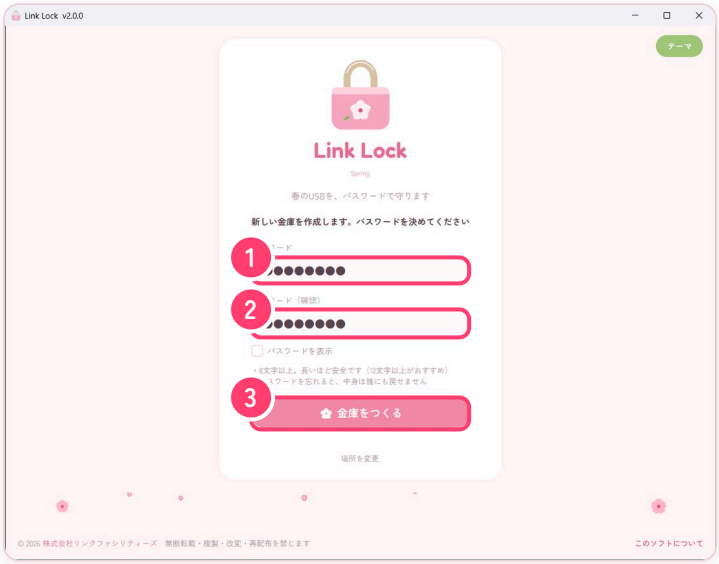
USB の中の **LinkLock.exe** をダブルクリックします。画面が出るまで数秒かかります。

はじめて開くパソコンでは、次のような青い画面が出ることがあります。Link Lock はインターネットから届いた新しいソフトなので、Windows が念のため確認しています。



① **「詳細情報」**を押す → ② **「実行」**を押す と開きます（そのパソコンでは次から出ません）。

④ 金庫をつくる（パスワードを決める）



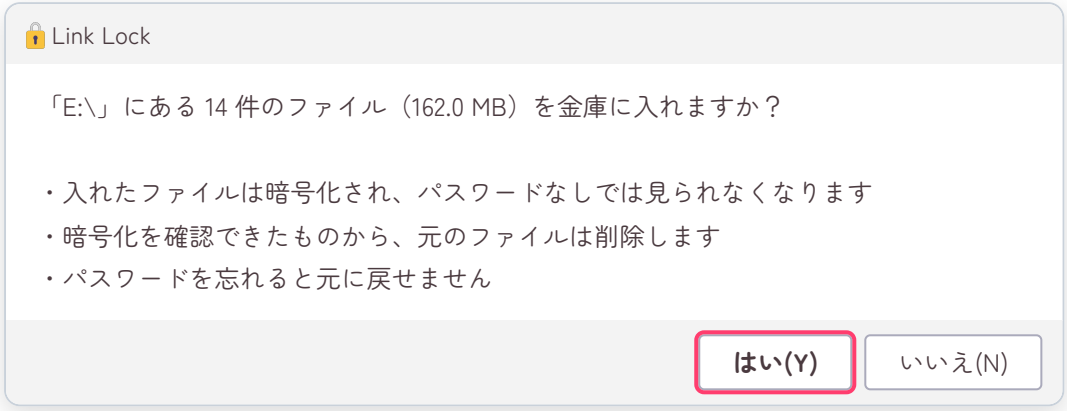
1 **パスワード**	決めたパスワードを入れます。●で隠れて見えません。
2 **パスワード（確認）**	打ち間違いを防ぐため、もう一度同じものを入れます。
3 **金庫をつくる**	押すと金庫ができます。

💡**入れたパスワードを確かめたいときは**

「パスワードを表示」にチェックを入れると、●が文字で見えます。周りに人がいないか気をつけてください。

⑤ USB のファイルを金庫に入れる

金庫ができると、まず USB の中のファイルを調べます。ファイルが多いと少し時間がかかりますが、その間も画面の下に **「調べています」と見つけた件数・調べている場所**が出ます（「中止」でやめられます）。調べ終わると次のように聞かれるので、 USB にもともと入っていたファイルを守るため、**「はい」**を押します。



「いいえ」を押したときや、あとから USB に直接ファイルをコピーしたときは、画面の上にお知らせが出ます。 1 の **「金庫に入れる」**を押すと、いつでも入れられます。



入れている間の画面

ファイルが多いと時間がかかります。画面の下に進み具合が出るので、終わるまでお待ちください。



1 **進み具合**	「何件中何件・何%・あと約何分」が出ます。
2 **進み具合の棒**	右まで進むと終わりです。
3 **中止**	途中でやめたいときに押します。入れ終えた分は金庫に、まだの分は元のまま残ります。

> 🔑 **入れている間は USB を抜かないでください**
>
> 「金庫に入れています」「解除しています」などが出ている間に USB を抜くと、ファイルが壊れることがあります。

> ℹ️ **時間の目安**
>
> 数百 MB なら数分、数百 GB〜1 TB なら数時間かかることがあります（USB の速さによって変わります）。

⑥ USB の中はこうなっています

金庫をつくると、USB の中に次のものができます。ふだんは**隠しフォルダ**なので、エクスプローラーでは見えません。

USB ドライブ (E:)　（エクスプローラーで、隠しファイルと「保護されたオペレーティング システム ファイル」まで表示する設定にしたとき）

削除厳禁_データアーカイブ	**金庫の本体　絶対に消さない！**
LinkLock.exe	ソフト本体（消しても ZIP から戻せます）
はじめにお読みください（Link Lock）.txt	案内（消しても大丈夫）
エラーの記録（Link Lock）.txt	うまくいかなかったときだけできます

⚠️「削除厳禁_データアーカイブ」フォルダは、絶対に消さないでください

このフォルダが**金庫の本体**です（暗号化したファイル・カギ・目録が入っています）。

- 消すと、**金庫の中身はすべて失われ、元に戻せません**（USB メモリには「ごみ箱」がありません）。
- 中のファイルを動かす・名前を変える・別の場所にコピーし直すことも、しないでください。
- USB を整理するときや、隠しファイル・システムファイルまで表示する設定のときは、特にご注意ください。
- USB を**フォーマット（初期化）**しても、同じように中身はすべて消えます。

ℹ️ うっかり消さないための工夫

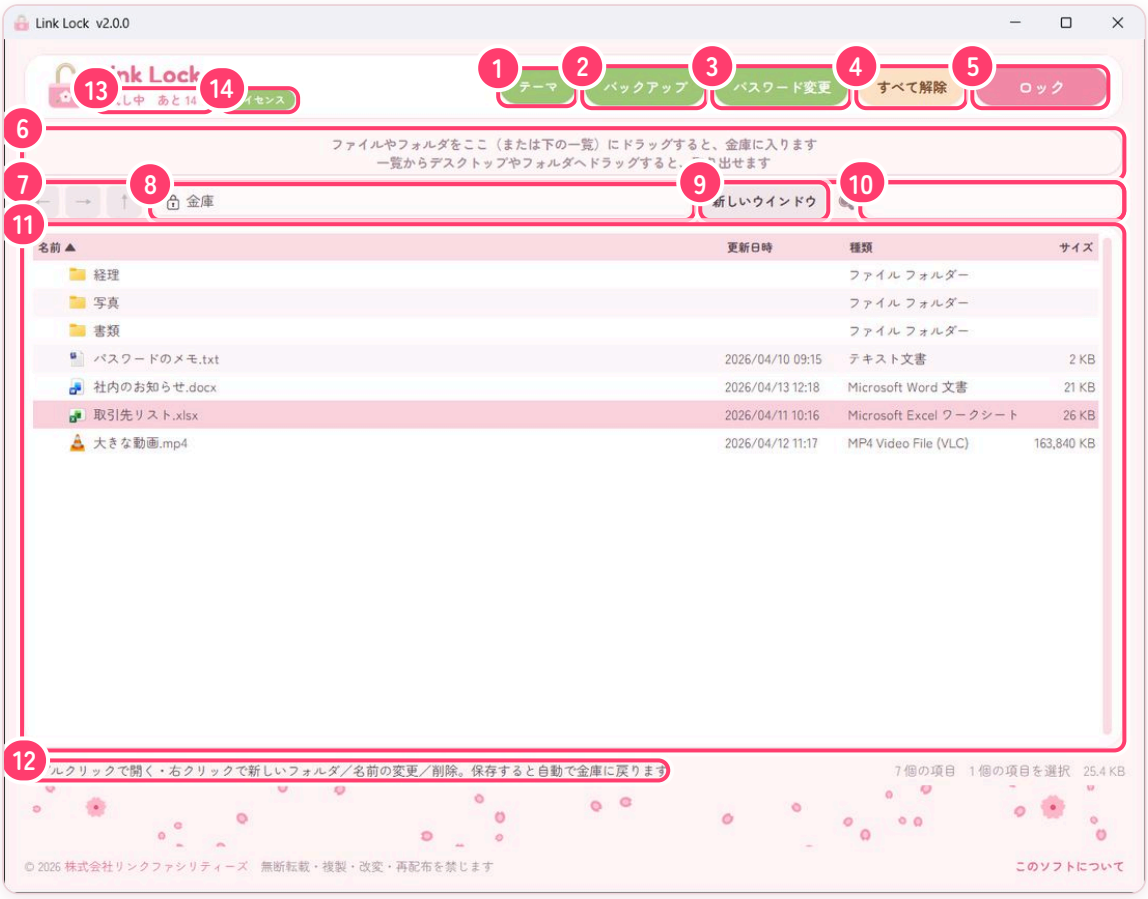
・フォルダは「隠し＋システム」なので、「隠しファイルを表示」にしても見えません
・中の大事なファイルは「読み取り専用」にしてあります（以前の版の「LinkLock」フォルダは、開くと自動でこの名前に変わります）

💡 もしものために、バックアップを

うっかり消してしまったときも、バックアップがあれば戻せます（第9章・第12章）。

第3章 画面の見方

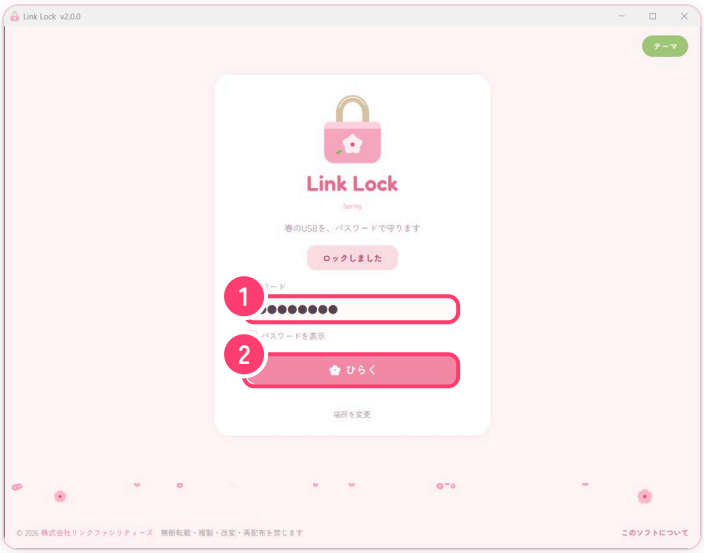
パスワードを入れて開くと、この画面になります。エクスプローラー（いつものフォルダの画面）とほとんど同じです。



1 テーマ	画面の色や絵（着せ替え）を選びます。
2 バックアップ	金庫を別の場所に写して、もしものときに備えます（第9章）。
3 パスワード変更	パスワードを変えます（第10章）。
4 すべて解除	金庫をやめて、中身を普通のファイルに戻します（第10章）。
5 ロック	使い終わったら押します。カギがかかります（第8章）。
6 ドロップの案内	ここや一覧にファイルを持ってくると、金庫に入ります（第5章）。
7 ← → ↑	前のフォルダに戻る・進む・ひとつ上のフォルダへ。
8 場所	いま見ているフォルダ（金庫 › 書類）。押すとそこへ移ります。
9 新しいウインドウ	いまのフォルダを、もう1つの窓で開きます（第6章）。
10 検索	名前の一部で、いま見ているフォルダの中から探します。
11 一覧	金庫の中のフォルダとファイル。見出しを押すと並べ替えます。
12 お知らせ	いま何をしたか・何をしているか。右は項目の数です。
13 お試しの残り	「お試し中　あと〇日」。ライセンスキーを入れると「〇〇様 ご利用中」（第11章）。
14 ライセンス	申請コードを見る・ライセンスキーを入れる（第11章）。

第4章 毎日の使い方（開く・保存する）

① 金庫を開く



1 USB の LinkLock.exe をダブルクリック
USB をパソコンに挿して、USB の中の LinkLock.exe を開きます。

2 パスワードを入れる
1 にパスワードを入れます。

3 「ひらく」を押す
2 を押すか、Enter キーを押します。

② ファイルを開いて、直して、保存する



1 ファイルをダブルクリック
一覧のファイルをダブルクリックすると、いつものソフト（Excel や Word など）で開きます。

2 いつもどおり直して「上書き保存」
保存すると、**自動で金庫に戻ります**。画面の下に「金庫に保存しました」と出ます。

3 開いている間は ✎ の印
開いているファイルには、名前の右に ✎ が付きます 1。

③ 「名前を付けて保存」するとき

Excel や Word で「名前を付けて保存」を選ぶと、保存する場所の画面が出ます。保存画面で**ひとつ上のフォルダ**に戻ると「**金庫**」というフォルダがあり、 中に金庫と同じフォルダ（書類・写真など）が並んでいます。好きなフォルダを選んで保存すると、**数秒で本物の金庫の同じフォルダに入ります**。



> ⚠️ **デスクトップなどに保存したものは、金庫に入りません**
> 「金庫」の外（デスクトップやドキュメントなど）に保存したファイルは、暗号化されない普通のファイルです。金庫に入れたいときは、Link Lock の画面にドラッグしてください（第5章）。

> 💡 **同じ名前のファイルがあるとき**
> 金庫に同じ名前のファイルがあるときは、上書きするか、「名前 (2)」のような別の名前で入れるかを聞いてきます。

④ ファイルを閉じたら

ソフトでファイルを閉じても、Link Lock はそのままで大丈夫です。続けてほかのファイルを開けます。 使い終わったら「ロック」を押すか、USB を抜いてください（第8章）。

> ℹ️ **開くたびに数秒かかります**
> Link Lock を開くときや、ファイルを開くときは、暗号を解くために少し時間がかかります。大きいファイルほど時間がかかります。

第5章 ファイルを入れる・取り出す

マウスでつかんで動かす（ドラッグ＆ドロップ）だけで、金庫に入れたり取り出したりできます。

🖥️ デスクトップ
エクスプローラー
（普通のファイル）

金庫に入れる →
Link Lock の画面にドラッグ

← 取り出す
一覧から外へドラッグ

🔒 Link Lock の画面
（金庫）
（暗号化して保管）

金庫に入れる

1. **入れたいファイルをつかむ**
   デスクトップやエクスプローラーで、入れたいファイルやフォルダの上でマウスの左ボタンを押したままにします。

2. **Link Lock の画面まで動かして離す**
   画面の案内のところか一覧の上で離すと、金庫に入ります。一覧の**フォルダの上で離す**と、そのフォルダの中に入ります。

コピー＆貼り付けでも入れられます。エクスプローラーやデスクトップでコピー（Ctrl＋C）して、Link Lock の一覧で貼り付け（Ctrl＋V）します。 金庫の中でもコピーしていたときは、**あとからコピーした方**を貼り付けます。

ℹ 元のファイルはどうなる？
パソコンから入れたときは、パソコンの元のファイルはそのまま残ります。いらなければ、ご自分で消してください。

同じ名前のファイルがあるとき



- **同じ名前のものは飛ばす** — 金庫にある方を残し、ほかのファイルだけ入れます。
- **上書きする** — 金庫にある方を、いま入れるファイルに置き換えます。
- **やめる** — 何も入れません。

取り出す（パソコンに普通のファイルとして出す）

取り出し方は、エクスプローラーと同じく**ドラッグ＆ドロップ**と**コピー＆貼り付け**の2つです（右クリックの「パソコンに保存」でも、保存する場所を選んで取り出せます）。どれでも、金庫の中身はそのまま残ります。

ドラッグ＆ドロップで

1. **一覧のファイルやフォルダをつかむ**
   取り出したいものの**名前の上**で、マウスの左ボタンを押したままにします。
2. **デスクトップやフォルダまで動かして離す**
   離したところに、普通のファイルとしてコピーされます。

大きいファイルやフォルダは、暗号を解く準備に時間がかかります。その間は、マウスの横に**つかんだものの名前と進み具合**がついてきます 1。準備の途中でボタンを離しても大丈夫です。札が離した場所にとどまって進み具合を出し、**準備ができたら、離した場所に保存します**。やめるときは Esc キーか、札の「取りやめ」ボタンを押します。



コピー＆貼り付けで

1. **金庫の中でコピーする**
   ファイルを選んで Ctrl ＋ C（または右クリック →「コピー」）。
2. **デスクトップやエクスプローラーで貼り付ける**
   貼り付けたい場所で Ctrl ＋ V（または右クリック →「貼り付け」）。

コピーすると、外に貼り付けられるように暗号を解く準備をします。大きいときは、画面の下に**「外にも貼り付けられるように準備しています」と進み具合**が出ます。 画面の下に「デスクトップやエクスプローラーでも貼り付けできます」と出たら、貼り付けられます。準備中に金庫の中で貼り付けたときは、そちらを先にします。

> ⚠ **取り出したファイルは、暗号化されていません**
> デスクトップなどに取り出したファイルは、誰でも見られる普通のファイルです。使い終わったら消すなど、取り扱いに気をつけてください。
> 外への貼り付けは、**ロックする前に**済ませてください（ロックすると、貼り付けの準備をしたものも消します）。
> 「切り取り」は金庫の中で移すときだけ使えます。

第6章 ファイルの整理

フォルダを作る、名前を変える、移す、消す、探す。どれもエクスプローラーと同じです。

ファイルを右クリック

開く

切り取り
コピー
パソコンに保存

削除
名前の変更

プロパティ

何もないところを右クリック

表示（大アイコン・中アイコン・詳細）
並べ替え
最新の情報に更新
新しいウインドウを開く

貼り付け
新規作成（フォルダー・Word など）
ファイルを追加
すべて選択

プロパティ

新しいフォルダ	何もないところを右クリック →「新規作成」→「フォルダー」。Ctrl + Shift + N でも作れます。
名前を変える	ファイルを右クリック →「名前の変更」、または F2 キー。選んだファイルをもう一度ゆっくりクリックしても変えられます。Enter で決定、Esc で取り消し。
移す	ファイルをつかんで、移したいフォルダの上で離します（離す先に色が付きます）。
コピー・移動	Ctrl + C（コピー）または Ctrl + X（切り取り）→ 移したいフォルダで Ctrl + V（貼り付け）。外とも使えます。
消す	ファイルを右クリック →「削除」、または Delete キー。**金庫から消したファイルは元に戻せません。**
表示を変える	何もないところを右クリック →「表示」で、大アイコン・中アイコン・詳細を選べます。



名前を変えているところ



「書」で探したところ（場所の欄に、ある場所が出ます）

新しいウインドウで、2つのフォルダを並べる

エクスプローラーの「新しいウィンドウ」と同じように、金庫の一覧を**もう1つの窓**で開けます。見比べたり、窓から窓へ移したりするときに便利です。



「書類」を新しいウインドウで開いたところ（窓の名前に、開いているフォルダが出ます）

開く	場所の表示の右の「新しいウインドウ」ボタン、または Ctrl＋N。いま開いているフォルダが、もう1つの窓に出ます。 フォルダを右クリック →「新しいウインドウで開く」なら、そのフォルダが出ます。
窓ごとに使う	それぞれの窓で、別のフォルダを開いたり、検索・表示・並べ替えを変えたりできます 1 2。
窓から窓へ移す	ファイルをつかんで、もう1つの窓の**何もないところで離す**と、その窓で開いているフォルダへ移ります（フォルダの上で離すと、そのフォルダへ）。 切り取り・コピーして、もう1つの窓で貼り付けることもできます。
閉じる	窓の右上の「×」で、**押した窓だけ**が閉じます（最初の窓でも大丈夫。新しいウインドウは Ctrl＋W でも）。 **最後の窓**を閉じると、ロックして Link Lock が終わります。

どの窓にも同じボタンがあります

「ロック」「バックアップ」「テーマ」などのボタンは、どの窓にもあります。「ロック」を押すと（USB を抜いたときも）、ぜんぶの窓をロックして、パスワードを入れる画面に戻ります。

新しいフォルダーは Ctrl＋Shift＋N

Ctrl＋N は新しいウインドウ、Ctrl＋Shift＋N は新しいフォルダーです（エクスプローラーと同じ）。

第7章 いくつかまとめて選ぶ

いくつか選んでから、まとめて移す・取り出す・消すことができます。



1. **選んだファイル**　色が付きます。
2. **選んだ数**　「3 個の項目を選択」のように出ます。

Shift＋クリック	最初にクリックしたファイルから、Shift を押しながらクリックしたファイルまでを**まとめて**選びます。
Ctrl＋クリック	1つずつ**足す・外す**ことができます。
マウスで囲む	名前の外（日時や種類の欄、何もないところ）から押したまま動かすと、通ったファイルを選べます。 ※ 名前の上から動かすと、ファイルの移動・取り出しになります。
Ctrl＋**A**	すべて選びます。

キーボードで選ぶ

↑ **↓**	1つずつ移ります（アイコン表示では **←** **→** も）。
Shift＋矢印	選ぶ範囲を広げる・縮める。**Shift**＋**Home**／**End** で先頭・最後まで。
Ctrl＋矢印 → **Ctrl**＋**スペース**	選んだものはそのままで位置だけ動かし（名前に下線が付きます）、その位置を足す・外す。

💡選んだものをまとめて動かすには

選んだうちのどれか1つの**名前の上**をつかんで動かすと、選んだものすべてが一緒に動きます。

第8章 使い終わったら

使い終わったら、カギをかけます。方法は2つ。どちらでも大丈夫です。

方法1　「ロック」を押す

画面の右上の**「ロック」**を押すと、カギがかかってパスワードを入れる画面に戻ります。 そのあと USB を抜きます。

方法2　そのまま USB を抜く

USB を抜くと、Link Lock が気づいて**すぐにカギをかけます**。 パソコンに出していた一時的なファイルも消します。

⚠ ファイルを開いたままのとき

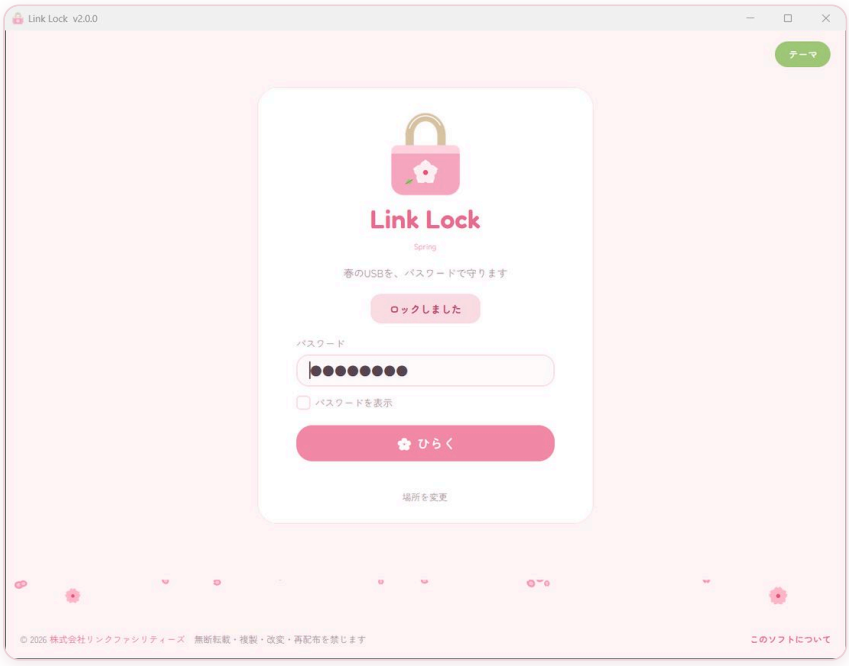
Excel などでファイルを開いたままだと、パソコン側の一時的なコピーをすぐに消せません。先にソフトでファイルを閉じてから、ロックしてください（閉じたあとで自動で消します）。

🔑 処理中は USB を抜かないでください

画面の下に「入れています」「解除しています」「バックアップしています」などが出ている間は、USB を抜かないでください。

× で閉じたとき

画面の右上の × で Link Lock を閉じても、カギはかかります。処理中に × を押したときは、区切りのよいところで止めてから閉じます。



ロックしたあとの画面。次に使うときは、ここでパスワードを入れます

第9章 バックアップ（もしものために）

USB メモリは、なくしたり壊れたりすることがあります。大事なファイルは、ときどきバックアップしましょう。

新しく作る（まるごと）

💾 本番の USB → 📁 LinkLock_バックアップ_日時

金庫を、まるごと写す

はじめてのバックアップや、日付ごとに残しておきたいときに。写す先は USB でもパソコンでも。

前のバックアップに足す（同期）

💾 本番の USB → 💾 バックアップ用（前に作ったもの）

増えた・変わった分だけを足す

2回目からはこちら。すぐ終わります。フォルダを選んで足すこともできます。

画面の上の「バックアップ」を押すと、次の画面が出ます。やりたいものを選んでください。



ℹ️ 金庫の中身は暗号化されたまま

どちらの方法でも、金庫の中身は暗号化したまま写します。バックアップを見るときも、パスワードが必要です。

💡 写したあとに確かめます

写した先から1つずつ読み直して、元と同じか確かめます。「照合に失敗しました」と出たときは、別の USB で作り直してください。

おすすめのやり方

1. **1回目は「新しく作る（まるごと）」**
   バックアップ用の USB を挿して「新しく作る（まるごと）」を押し、その USB を選びます。USB の中に「LinkLock_バックアップ_日時」というフォルダができ、金庫（暗号化したまま）がまるごと入ります。写す前に要る量を調べ、空きが足りないときは写し始めずに「足りない量」を知らせます。
2. **2回目からは「前のバックアップに足す（同期）」**
   同じ USB を選ぶだけで、中のいちばん新しいバックアップに、増えた・変わった分だけを足します。すぐに終わります。

「前のバックアップに足す（同期）」のくわしいやり方

1 足す先を選ぶ

「バックアップ」→「前のバックアップに足す（同期）」を押し、バックアップ用の USB（または前に作ったバックアップのフォルダ）を選びます。まだバックアップがない場所を選ぶと、「ここに新しく作りますか？」と聞いて「まるごと」を作ります。

2 足すものを選ぶ

「金庫のすべて」か「選んだフォルダだけ」を選んで「次へ」。

3 確認して「はい」

足す件数や量が出るので、確かめて「はい」を押します。



足すものを選ぶ画面

同期の決まり

・増えた・変わったファイルだけを足します
・本番で消したファイルは、バックアップ側からは**消しません**
・両方で同じファイルを直していたときは、**両方残します**（バックアップ側の方は「名前（USB の名前）」になります）
・バックアップ用の USB のパスワードが本番と違っても大丈夫です（そのときはパスワードを聞きます）

第10章 そのほかの機能

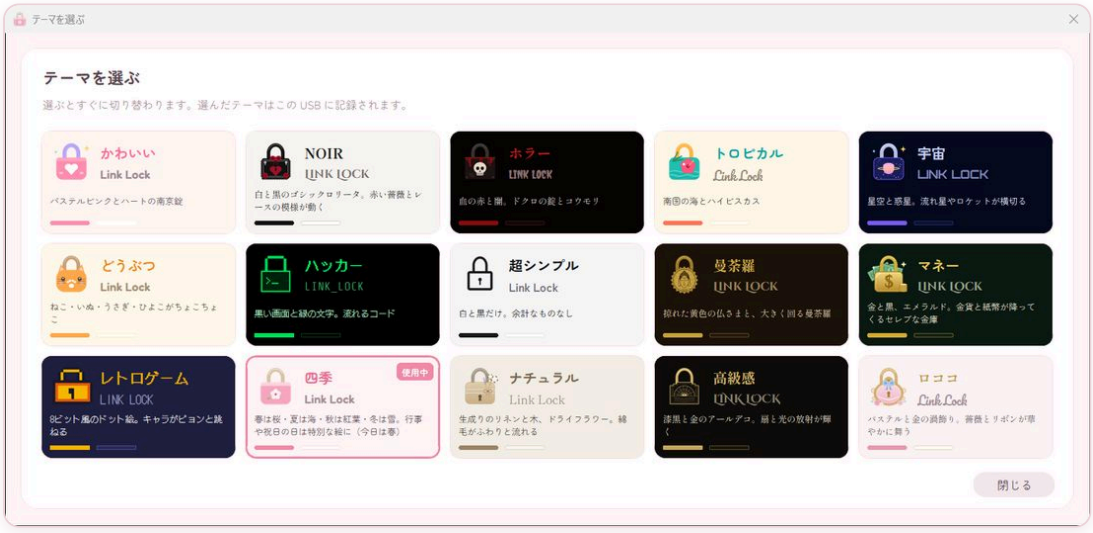
パスワードを変える



「パスワード変更」を押し、今のパスワードと、新しいパスワード（2回）を入れて「変更する」を押します。
中のファイルは、そのまま新しいパスワードで開けるようになります。

> ⚠ **バックアップのパスワード**
> 前に作ったバックアップは、作ったときのパスワードのままです。

テーマ（着せ替え）



画面の右上の「テーマ」から、15種類のデザインを選べます。選ぶとすぐに変わり、次に開いたときも同じテーマになります。 はじめは「四季」です。開いた日に合わせて春・夏・秋・冬に変わり、お正月やクリスマスなどの行事の時期には、絵や言葉も特別なものになります。

すべて解除（金庫をやめる）

「すべて解除」を押すと、金庫の中身がすべて普通のファイルに戻り、**金庫はなくなります**。 USB を挿せば誰でも中身を見られる状態になるので、本当に金庫をやめたいときだけ使ってください。

新しい版にするとき

Link Lock を閉じてから、新しい LinkLock.exe を USB の LinkLock.exe に**上書き**してください。金庫の中身はそのまま使えます。 いま使っている版は、画面のいちばん上の窓の名前（例：Link Lock v2.0.0）でわかります。

途中でやめるとき（中止）

金庫に入れる・コピーと貼り付け・ファイルを開く・すべて解除・バックアップ・パソコンに保存の途中は、画面の右下（進み具合の棒の右）に**「中止」**ボタンが出ます。 押すと、止めたらどうなるかが出るので、「はい」で止めます。画面の下には、**いま扱っているファイルの名前**も出ます。 ドラッグで取り出す途中でボタンを離したときは、札の**「取りやめ」**ボタンで止められます。

貼り付け（コピー）の途中	コピーし終えた分は貼り付け先に入っています。書きかけのファイルは残りません。
金庫に入れている途中	入れ終えた分は金庫に、まだの分は元のファイルのまま残ります。もう一度「金庫に入れる」を押すと、続きから入れられます。
すべて解除の途中	戻し終えた分は普通のファイルになっています。もう一度「すべて解除」を押すと、続きから戻します。
バックアップの途中	写しかけのバックアップは中途半端になるので、自動で消します。もう一度作り直してください。
同期（足す）の途中	足し終えた分はそのまま使えます。もう一度「前のバックアップに足す（同期）」をすると、続きから足します。

容量について

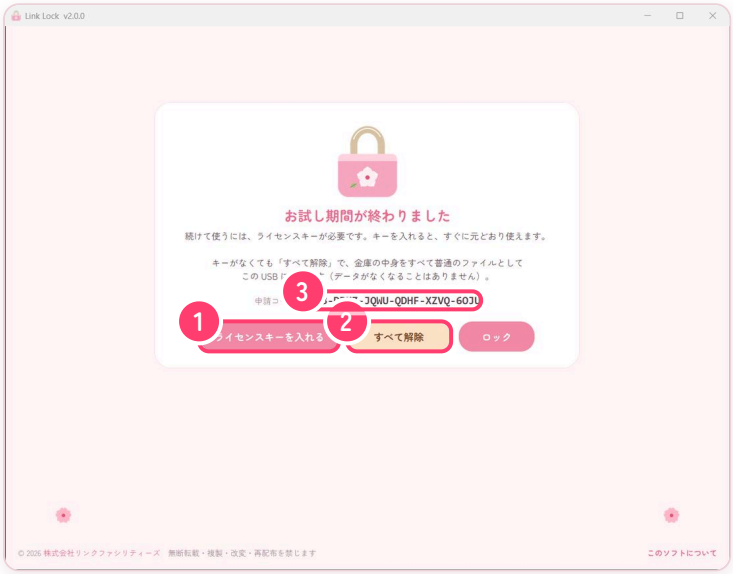
- Link Lock に容量の上限はありません。USB メモリの容量しだいです。
- ファイルを入れたり保存し直したりするときは、そのファイル1つ分の空きが USB に必要です。ファイルを開く・取り出すときは、パソコン側に同じだけの空きが必要です。
- 入れる前に空きを確かめ、足りないときは始める前にお知らせします。

第11章 お試し期間とライセンスキー

Link Lock はシェアウェアです。金庫をつくった日から 14 日間、すべての機能を無料でお試しいただけます。

- 残りの日数は、開いた画面の上に**「お試し中　あと〇日」**と出ます（第3章 13）。残り 3 日になると、開いたときにもお知らせします。
- お試しは、**1 台のパソコンにつき 1 回**です（別の USB に金庫をつくり直しても、続きから数えます）。

お試し期間が終わったら



1	**ライセンスキーを入れる**	届いたキーを入れると、すぐに元どおり使えます。
2	**すべて解除**	キーがなくても、金庫の中身をすべて普通のファイルとして USB に戻せます。
3	**申請コード**	ご購入のときに書いていただく番号です。

データがなくなることはありません

お試し期間が終わると、ファイルを見る・入れる・取り出す・バックアップはできなくなりますが、「すべて解除」はいつでもできます。中身はすべて、普通のファイルとして取り戻せます。

ご購入の方法

1 **「ライセンス」を押す**

開いた画面の上の「ライセンス」（お試しが終わったあとは「ライセンスキーを入れる」）を押します。

2 **申請コードを控える**

1 の申請コード（英数字 24 文字）を控えます。「コピー」でコピーできます。

3 **ベクターで申し込む**

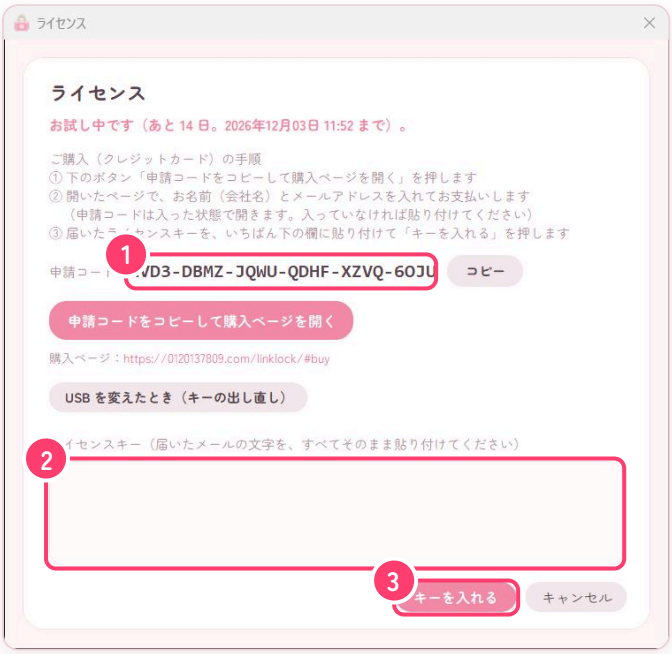
ベクターの販売ページからお申し込みください。申し込みのときに、**申請コード**と**お名前（会社名）**を書いてください。

4 **ライセンスキーが届く**

お支払いのあと、ベクターからライセンスキーがメールで届きます（数日かかることがあります）。

5 **キーを貼り付けて「キーを入れる」**

2 にキーをすべて貼り付けて、3 を押します。





キーを入れると「〇〇様 ご利用中」と出て、期限なく使えます

💡ライセンスキーについて

・キーは、申請コードを出した金庫（USB）用です。ほかの金庫では使えません

・パスワードを変えても、「バックアップ」で作ったバックアップ用の USB でも、そのまま使えます

・USB を買い替えるときは、「バックアップ」の「新しく作る（まるごと）」で新しい USB に写すと、そのまま使えます

・「すべて解除」をすると、キーも金庫と一緒に消えます。届いたメールは保管しておいてください

第12章 困ったときは（Q&A）

Q パスワードを忘れてしまいました。

A 申し訳ありませんが、中身を元に戻す方法はありません。作った会社でも開けられません。パスワードは紙に書いて安全な場所に保管してください。

Q 「Windows によって PC が保護されました」と出て開けません。

A 「詳細情報」を押してから「実行」を押してください（第2章③）。

Q 「パスワードが違います」と出ます。

A 大文字・小文字（Caps Lock）や、全角・半角（日本語入力）がちがっていないか確かめてください。「パスワードを表示」にチェックを入れると、入れた文字が見えます。

Q 「お試し期間が終わりました」と出て、ファイルが見られません。

A ライセンスキーを入れると、すぐに元どおり使えます（第11章）。キーがなくても「すべて解除」で、中身をすべて普通のファイルとして USB に戻せます。

Q ライセンスキーを入れると「この金庫用ではありません」と出ます。

A キーは、申し込みのときに書いた申請コードの金庫用です。画面の申請コードと、申し込みのときの申請コードが同じか確かめてください。「すべて解除」のあとに金庫を作り直したときは、申請コードが変わります。

Q LinkLock.exe を消してしまいました。

A データは USB の「削除厳禁_データアーカイブ」フォルダに残っています。ZIP からもう一度 LinkLock.exe を USB のいちばん上にコピーすれば開けます。

Q 「USB の中に、まだ守られていないファイルがあります」と出ます。

A USB に直接コピーしたファイルは守られていません。「金庫に入れる」を押してください。

困ったときは（つづき）

Q 大きな動画が入りません（4GB を超えるファイル）。

A USB の形式が FAT32 だと、1つのファイルは 4GB までしか入りません（Windows の決まり）。USB を exFAT 形式にすると入ります。形式を変えると USB の中身は消えるので、先にほかの場所へ写してください。

Q 「USB の空きが足りません」と出ます。

A 入れたり保存し直したりするときは、そのファイル1つ分の空きが USB に必要です。いらないファイルを消すか、大きい USB を使ってください。

Q 「この USB の金庫は、ほかの Link Lock の画面で開いています」と出ます。

A 同じ USB の Link Lock を2つ開いています。もう一方の画面でロックするか、閉じてください。

Q とても遅い・途中で止まる。

A USB の差し口を変える（ハブを使わず、パソコン本体に直接挿す）と直ることがあります。何度も止まるときは、USB の故障も考えられます。大事なファイルは早めにバックアップしてください。

Q うまくいかなかったファイルがあると出ました。

A USB の LinkLock.exe と同じ場所に「エラーの記録（Link Lock）.txt」ができ、どのファイルがなぜうまくいかなかったかが書いてあります。

Q Link Lock で開けなくなりました。

A 同じ ZIP に入っている「非常用復元ツール」（LinkLock_Rescue.exe）で、救えるファイルをパソコンに取り出せます。

Q 「削除厳禁_データアーカイブ」フォルダを消してしまいました。

A 金庫の中身は USB から消えてしまい、元には戻せません。バックアップがあれば、バックアップのフォルダの中の「削除厳禁_データアーカイブ」フォルダと LinkLock.exe を、USB のいちばん上にコピーすると、バックアップした時点の中身で開けます。

第13章 大事なお約束

- **パスワードを忘れると、中身は誰にも戻せません。**必ず控えておいてください。
- **USB の中の「削除厳禁_データアーカイブ」フォルダは、絶対に消さないでください。**金庫の本体です。消すと中身はすべて失われます。 中身を動かしたり、USB をフォーマットしたりもしないでください。
- 「入れています」「解除しています」などが出ている間は、USB を抜かないでください。
- 取り出したファイル・パソコンに保存したファイルは、暗号化されていない普通のファイルです。
- 大事なファイルは、ときどきバックアップしてください。USB メモリは突然壊れることがあります。

免責

本ソフトウェアの使用によって生じたデータの消失その他の損害について、権利者は責任を負いません。

使っている部品（オープンソースソフトウェア）

本ソフトウェアは次のオープンソースソフトウェアを利用しています。Python（Python Software Foundation License）、cryptography（Apache License 2.0 / BSD License）、Tcl/Tk・tkdnd（BSD 系ライセンス）、CustomTkinter・tkinterdnd2（MIT License）、 Pillow（MIT-CMU License）、同梱の書体（SIL Open Font License 1.1。詳しくは「書体のライセンス.txt」）。これらの著作権は各権利者に帰属します。 この説明書の文字は「Zen Maru Gothic」（SIL Open Font License 1.1）を使っています。

© 2026 株式会社リンクファシリティーズ
https://0120137809.com/linklock/
本ソフトウェアおよび付属文書の無断転載・複製・改変・再配布・販売を禁じます。